

**福島県の透析施設の方からのメールを一部ですが、
ご紹介します。**

☆当院の透析施設のある棟が古かったため、倒壊寸前で透析室は使用不能になりました。

人と物を持参して、それぞれの透析室に患者さんと出かけています。
周囲の透析室も断水のため水の確保が出来ず、かなり遠くまで出かけています。

透析内容も2時間とECUM併用でしのいでいます。

物流の心配が出てきています。まずは、元気なので頑張ります。

☆当院は約640床ありますが建物は半壊。立ち入り禁止区域に透析室も入っており、復旧は年単位になると予想されてしまいました。透析室に忍びこんできたのですが、当時の惨劇がまざまざと残っていました。天井や空調が落ち、機器やベッドが散乱。控室も足の置き場がありませんでした。

当日は地震の合間をみて回路を切断せずに回収し、7階から1階まで階段で避難しました。

患者さんは近隣の3施設に依頼、2施設はスタッフ付きで対応しています。

☆宮城県や岩手県の情報はテレビで流れますが、福島県は原発を恐れているのかあまり情報が流れていないようです。福島もかなりひどいんです。原子力発電所の情報は流されますが、被災地も沢山あるんです。亡くなっている方も多くいます。

原発のことばかり流されているため、陸の孤島になっているのかなーと不安になっています。行政から見放されたらどうしようという不安もあります。

物資を運ぶ人も恐れて途中から引き返してしまうそうです。一見人がいないように見えるが、みんな家から出ないようにとされているため、家の中で、ひっそり暮らしています。過剰な情報と、正しい情報が錯乱している感じです。
